

# さいたま市 総合都市交通体系マスタープラン 意見要旨

さいたま市 都市局 交通政策部 交通政策課

## (1) 前回の地域公共交通協議会(R7.3.25)の意見要旨

項目	頂いたご意見の要旨	対応等
公共交通編	<ul style="list-style-type: none"> <li>長距離バスは人手不足や利用者の減少によって廃線になる可能性も高いため、整理の仕方については再検討するべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域輸送であることを鑑みて幹の中で整理</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンスローモビリティについて、人手不足が深刻化している状況下で担い手を増やしていく方針が適切なのか、またタクシーと同じエリアで走行することが適切なのかについて、検討するべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通モードの期待する役割で方向性を記載</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>モビリティハブの考え方について、乗換を許容する文化の醸成が必要であり、そのために待合環境の整備や多目的化を含めて方針を検討するべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス停のモビリティハブ化を事業として記載</li> </ul>
戦略・評価編	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス移動は外出する目的があることを大前提としているため、さいたま市としては外出需要を生み出していく目的づくりの視点も計画に取り入れていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域幸福度の向上に向けたモニタリング」において事業との関係性を整理</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民主体での取組みはボランティア輸送ではなく運転手を生業とする人が増えることが理想であり、行政としても担い手を一緒に作っていくことに対して検討していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス運行の担い手確保やモビリティ人材の育成を新規事業として記載</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>根の施策について、交通マネジメントはニーズ側の施策であるため、サプライ側について人材育成、担い手不足解消に関する指標を検討するべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニタリング指標に運転手の人数を記載</li> </ul>

## (2)バス部会(R7.7.25)の意見要旨

項目	頂いたご意見の要旨	対応
ビジョン編	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動運転技術の実用化はいつ頃をイメージして記載しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>P15 に自動運転に対する想定を追記</li> </ul>
公共交通編	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、都市の形態や人口密度も変化していくなかで、都市計画との連携も重要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>立地適正化計画においても交通アクセス利便エリア等を踏まえた検討を進めている</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材確保を最優先に考えていくべきと考える。また、担い手不足は、運転手だけでなく、整備職、事務職においても深刻である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「バス運行の担い手確保」を幹の事業に位置づけ</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>モビリティハブの課題に運転手の労働環境の確保・改善についても記載して欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に追記</li> </ul>
戦略・評価編	<ul style="list-style-type: none"> <li>最終的な結果に結びつけていくための手順が不明確ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年度のフィードバックで検討していく方針</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事故死者数に目標に向けては、ハード整備だけではなく交通安全意識を高めしていくことも重要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>根の課題として記載</li> </ul>